



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4527 URL <http://www.rohto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) (06)6758-1211
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,396	9.6	2,660	1.0	2,890	3.2	1,746	12.1
24年3月期第1四半期	25,901	5.8	2,687	32.5	2,986	29.4	1,987	51.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,058百万円(31.0%) 24年3月期第1四半期 1,534百万円(81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.85	14.79
24年3月期第1四半期	16.91	16.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	130,570	83,746	63.5
24年3月期	136,008	83,627	60.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 82,890百万円 24年3月期 82,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		8.00		8.00	16.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,500	1.5	5,500	12.8	5,700	12.6	3,400	16.6	28.91
通期	124,000	3.1	14,000	2.8	14,200	3.8	8,500	3.9	72.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 有
 - 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	117,919,596株	24年3月期	117,919,596株
期末自己株式数	331,451株	24年3月期	330,789株
期中平均株式数(四半期累計)	117,588,311株	24年3月期1Q	117,578,369株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による企業活動や消費マインドの低下に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、欧米諸国の財政不安や景気の低迷により長期化する円高の影響を受け、先行きの景況感が極めて不透明な状況が続いております。また、海外におきましては、中国や新興国の景気拡大に牽引され、緩やかながらも回復傾向が続いたものの、欧州における財政危機の影響や、米国での失業率の高止まりなどにより、経済の回復は停滞した状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は283億9千6百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面につきましては、売上が堅調に推移したものの、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は26億6千万円（同 1.0%減）、経常利益は28億9千万円（同 3.2%減）、四半期純利益は17億4千6百万円（同 12.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

外部顧客への売上高は、204億2千1百万円（前年同期比8.6%増）となりました。整肌保湿成分のP Q Q（ピロロキノリンキノン）を世界で初めて配合した美容液「オバジ アクティブベースP Q エッセンス」をはじめとした「オバジ」ブランドが好調に推移し、男性用化粧品「オキシー」や、女性用育毛剤が好調な「50の恵」などのビューティー関連品も順調に推移しております。また、かかと水虫という新市場を開拓した新製品の「メンソレータム エクシブ ディープ10クリーム」や高付加価値型目薬の「解眼新書」シリーズ等が好調に推移し、増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費等の増加により、18億5千9百万円（同 13.3%減）となりました。

（アメリカ）

外部顧客への売上高は、12億4千7百万円（前年同期比7.1%減）となりました。米国での失業率の高止まりや消費の停滞もあり、厳しい経営環境が続いております。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上高が減少したものの、広告費及び販売促進費の効率的な活用に努めました結果、4千5百万円の損失（前年同期のセグメント損失は1億5千万円）となりました。

（ヨーロッパ）

外部顧客への売上高は、9億1千7百万円（前年同期比12.5%減）となりました。ヨーロッパ全体の財政危機の影響で市場環境が好転しなかったこともあり、厳しい経営環境となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、2千4百万円（同 68.3%減）となりました。

（アジア）

外部顧客への売上高は、53億3千9百万円（前年同期比22.9%増）となりました。中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研（ハダラボ）」や男性化粧品「Mentholatum Men」、日焼け止め「サンプレイ」などのスキンケア関連が好調に推移し、増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、「肌研（ハダラボ）」等への販売促進費が増加したものの、増収が寄与したことにより7億5千8百万円（同 33.9%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、4億7千万円（前年同期比27.6%増）となり、セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、4千8百万円（前年同期のセグメント利益は3百万円）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,305億7千万円となり、前連結会計年度末より54億3千7百万円減少しました。これは、現金及び預金が4億1千2百万円、商品及び製品が5億8千万円、原材料及び貯蔵品が6億1千2百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が76億1百万円減少したこと等によるものであります。

負債は468億2千4百万円となり、前連結会計年度末より55億5千6百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が3億2千1百万円増加した一方、未払費用が20億5千2百万円、未払法人税等が15億円、賞与引当金が10億円、売上割戻引当金が12億5千1百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては837億4千6百万円となり、前連結会計年度末より1億1千9百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が3億5千4百万円、為替換算調整勘定が3億4千8百万円減少した一方、利益剰余金が8億5百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、前回公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,381	15,793
受取手形及び売掛金	31,898	24,296
商品及び製品	10,913	11,494
仕掛品	1,161	1,319
原材料及び貯蔵品	5,931	6,543
その他	6,088	6,366
貸倒引当金	94	92
流動資産合計	71,280	65,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,022	18,851
機械装置及び運搬具(純額)	9,342	9,400
その他(純額)	14,262	14,491
有形固定資産合計	42,628	42,742
無形固定資産		
のれん	958	910
その他	1,315	1,303
無形固定資産合計	2,273	2,214
投資その他の資産		
投資有価証券	14,945	14,497
その他	5,008	5,522
貸倒引当金	128	128
投資その他の資産合計	19,826	19,891
固定資産合計	64,727	64,848
資産合計	136,008	130,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,525	10,847
短期借入金	5,103	4,989
未払費用	16,029	13,976
未払法人税等	2,755	1,255
賞与引当金	1,861	860
役員賞与引当金	30	7
返品調整引当金	700	660
売上割戻引当金	2,651	1,400
その他	5,277	5,598
流動負債合計	44,935	39,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
固定負債		
長期借入金	3,335	3,023
退職給付引当金	1,843	1,809
役員退職慰労引当金	69	69
その他	2,197	2,326
固定負債合計	7,445	7,229
負債合計	52,380	46,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,405	6,405
資本剰余金	5,524	5,524
利益剰余金	73,814	74,620
自己株式	270	270
株主資本合計	85,475	86,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,013	2,659
為替換算調整勘定	5,133	5,481
在外子会社の年金債務調整額	581	567
その他の包括利益累計額合計	2,701	3,389
新株予約権	579	579
少数株主持分	273	276
純資産合計	83,627	83,746
負債純資産合計	136,008	130,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	25,901	28,396
売上原価	11,165	11,967
売上総利益	14,735	16,428
返品調整引当金戻入額	148	40
差引売上総利益	14,883	16,468
販売費及び一般管理費	12,196	13,808
営業利益	2,687	2,660
営業外収益		
受取利息	18	30
受取配当金	261	269
持分法による投資利益	16	-
その他	86	37
営業外収益合計	382	337
営業外費用		
支払利息	55	49
持分法による投資損失	-	7
その他	27	50
営業外費用合計	82	106
経常利益	2,986	2,890
特別利益		
特許関連収入	281	-
特別利益合計	281	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	29
貸倒引当金繰入額	35	-
特別損失合計	35	29
税金等調整前四半期純利益	3,233	2,860
法人税等	1,244	1,129
少数株主損益調整前四半期純利益	1,989	1,731
少数株主利益又は少数株主損失()	1	15
四半期純利益	1,987	1,746

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,989	1,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337	354
為替換算調整勘定	122	330
在外子会社の年金債務調整額	4	14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	455	671
四半期包括利益	1,534	1,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,549	1,057
少数株主に係る四半期包括利益	15	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,798	1,343	1,047	4,343	25,532	368	25,901		25,901
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	369	194	1	221	785	3	789	789	
計	19,167	1,537	1,048	4,564	26,318	371	26,690	789	25,901
セグメント利益 又は損失()	2,145	150	77	566	2,638	3	2,642	44	2,687

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失()の調整額44百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,421	1,247	917	5,339	27,925	470	28,396		28,396
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	311	233	0	388	934	4	939	939	
計	20,733	1,481	917	5,728	28,860	474	29,335	939	28,396
セグメント利益 又は損失()	1,859	45	24	758	2,597	48	2,646	13	2,660

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失()の調整額13百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。